



① 岸和田城

天守閣は慶長時代（1596-1615）小出秀政によって建てられました。その後、1640年に城主となった岡部宣勝から岡部長職まで230年間、岡部家13代に亘り占有されました。

② 三の丸神社

元禄時代（1688-1704）に、京都府伏見稲荷大社から穀物の神を祀る稲荷神社が岸和田へ伝えられました。そして城主は町民や農民にもお参りすることを許しました。人々はそのような機会を与えられてとても喜び、太鼓や三味線に合わせて、好きなように踊りました。これが今日のだんじり祭り曳行の始まりと言われています。

③ 五風荘

この大きな回遊式日本庭園は、二世寺田利吉によって設計され、10年の歳月を経て1939年に完成しました。この庭は岸和田城「新御茶屋」と「薬草園」の跡地に造られたものです。

④ 天性寺蛸地蔵

南海本線蛸地蔵駅から海の方へ約300メートルの所に建っている人目を引くお寺に、皆さん興味を持たれることでしょう。このお寺は天性寺 地蔵堂で、日本で一番大きな地蔵寺の一つです。（地蔵は子どもを守る神様である地を略したものです。）参道の左側に立っている石碑は江戸時代（1603-1868）の有名な書家である池大雅によって書かれたと言われている「蛸地蔵」の文字が刻まれています。寺の本堂の北東角にある小さな御堂に祀られている小さな石像は、岸和田市の無形文化財に指定されています。岸和田市で現存する最古の石造物です。

⑤ 岸和田だんじり会館

この新しい観光場所は1993年9月1日にオープンしました。ホール内では大型マルチビジョンビデオ映像が300年の伝統を持つだんじり祭りを年中訪問者を楽しませてくれます。このホールは日本でも偉大な祭りの一つであるだんじり祭りに捧げる200,000岸和田市民の献身的な象徴を表しています。

⑥ 本町の伝統的な町並み

岸和田市のこの地区では旧紀州街道、南北500メートル、東西200メートルに広がる城下町の古い町並みが保存されています。

転載複製禁止

No Copies to be permitted